

小学校の部 最優秀賞

四国防災八十八話 第24話 あの時すぐに逃げていれば

「あの時すぐに逃げていれば」を読んで

福浦小学校 5年 ^{いの}猪野 ^{あいり}愛莉

わたしはこの話を読んで、食料もたしかに大事だけど、命の方が絶対に大事だと強く思いました。食料をゆう先してしまったせいで、お母さんとおばさんがなくなってしまったのはとても悲しかったです。わたしたちは、いつものひなん訓練で、地しんが起こったら、まずは頭を守る行動をとること、そして津波にそなえてすぐに学校の上のひなん場所のにげることを約束しています。もどることは絶対にだめです。そして、わたしたちはそっ先ひなん者として、家族や友達、地域の人にも、「津波が来ます。にげてください。」という声かけをして、福浦地域みんなの命も守れるようにしたいと思っています。何か大事なものや、必要なものがあるときには、あらかじめ防災倉庫や防災リュックの中に入れておくことがいいと思います。地しんが起こったからあわてて準備するのではなく、もしものときの時のことを考えて、前もって準備をすることが大切だと強く感じました。